



理工学専攻電気電子工学コース大学院生が 日本表面真空学会九州支部学術講演会で学生講演奨励賞を受賞

【概要】

理工学専攻電気電子工学コース修士課程 1 年の西村 昭彦 君が、令和元年 6 月 1 日に福岡大学で開催された令和元年度日本表面真空学会九州支部学術講演会(九州表面・真空研究会 2019)にて学生講演奨励賞を受賞しました。

【本文】

日本表面真空学会 九州支部学術講演会(兼 九州表面・真空研究会)は、九州・沖縄・山口の大学や企業で活躍する研究者が、薄膜・表面における種々の新奇な現象とその応用について幅広く議論する場として毎年開催され、今年で 24 回目を迎えます。当日は、薄膜・表面に関連した分野、半導体表面、金属表面、トポロジカル絶縁体、有機分子薄膜、結晶成長、プラズマ応用薄膜成長、放射光分析、炭素系新材料、ナノ応用デバイス、真空技術などを対象とした発表がありました。

西村君は「角度分解光電子分光による CdO(001)上 Bi 超薄膜の電子状態の研究」の講演題目で、Bi(110)の引っ張り歪みを伴うエピタキシャル成長が期待される CdO(001)基板の上に Bi 超薄膜を作製し、その電子状態についてシンクロトロン光を利用した角度分解光電子分光 (ARPES)測定によって調べた成果を発表し、学生講演奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。

○学生講演奨励賞（日本表面真空学会九州支部学術講演会(九州表面・真空研究会 2019)）

電気電子工学コース修士課程 1 年 西村 昭彦 君（指導教員：高橋 和敏 准教授）

題 目：角度分解光電子分光による CdO(001)上 Bi 超薄膜の電子状態の研究

発表者：西村昭彦，今村真幸，山本勇，東純平，高橋和敏



西村昭彦君（左）と嘉数誠支部長（右）